

上級経営会計専門家プログラム



京都大学

「経営管理手法の修得と実践的能力の向上」



教員

プログラム統括責任者

教 授 澤邊 紀生

プログラム担当

特命教授 永井 秀哉 特定教授 太田 一郎

客員教授 篠田 朝也 寄附講座教員 飯塚 隼光

プログラム統括補助

寄附講座教員 西脇 敏久

協力企業・団体

※五十音順

あんしん経営をサポートする会、一般社団法人コンサル技連

一般社団法人日本経営会計専門家協会、株式会社日本M&Aセンター

株式会社日本BIGネットワーク、株式会社MAP経営

株式会社YKプランニング、日本M&A協会



ゲスト講師による講義



グループワークの様子

目的

グローバル化が進展し競争環境が急激に変化している今日、中小企業経営においても管理会計を中心とした経営管理能力の重要性が高まっています。しかし、経営資源に制約のある中小企業が自前で高い管理会計能力を備えることは容易ではなく、公認会計士や税理士などの外部専門家を活用することが望ましいと考えられています。ところが、公認会計士や税理士といえども、管理会計等の経営管理手法について専門的な教育を受けているわけではなく、自己流で対応しているのが現状です。

そこで、本プログラムでは、公認会計士や税理士など実務経験を持つ専門家を対象として、中小企業等の経営を支援するために必要な経営管理知識を体系的に修得し、実践的能力向上をはかります。

プログラム内容

①体系的な知識の修得

受講生が会計・監査・税務について専門的知識を有していることを前提として、会計専門家として経営アドバイスを行うために必要な知識を体系的に学ぶカリキュラムを提供します。理論的知識と事例の両面から体系的な知識の習得を進めます。

②実践的な応用能力の向上（コンサルティング実習）

修得した体系的知識や技術を実践的に応用する能力を向上させるため、実際に京都企業の経営者を招聘し経営計画を策定し必要なマインドセットや実践的ノウハウを学びます。

<経営管理手法の修得と実践的能力の向上>

理論の学習とコーチングセッションを繰り返す

講座の前半部分では、教育目的に作成された事例を用いて、経営計画を策定します。

